

みどりの機能

みどりには様々な機能があり、あらゆる面から私たちの暮らしを支えています。



地球温暖化の防止

温室効果ガスである二酸化炭素を吸収・貯蔵します。

ヒートアイランド現象の緩和

植物の蒸散作用により気温の上昇を緩和します。

生物多様性

野生生物の生息の場となります。

雨水の循環・浸透

樹木は雨水を取り込み蒸散して大気中に放出します。また、みどりの多い公園や樹林地では地面に雨水を浸透させます。

レクリエーション

みどりは自然とのふれあいの場を提供し、健康づくりや教養、文化活動の場となります。

防災

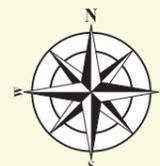
樹木は火災の延焼を防止します。また、オープンスペースは災害時の避難空間となります。

安らぎ

みどりのある景観は日本の原風景や季節の移り変わりを感じさせ、私たちの生活に潤いや安らぎを与えてくれます。

平成29年度

杉並区みどりの実態調査 概要版



平成29年度 杉並区みどりの実態調査 概要版

平成30年3月



発行：杉並区都市整備部みどり公園課
杉並区阿佐谷南一丁目15番1号
電話：03-3312-2111



空から見た杉並のみどり

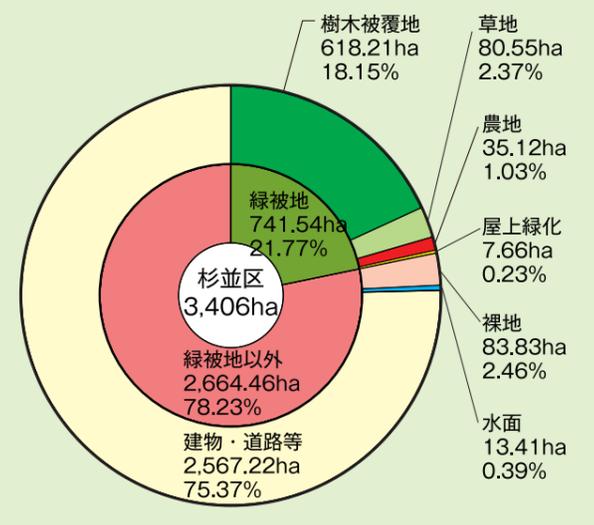
<平成29年6月10日撮影>

250 500 1,000 m



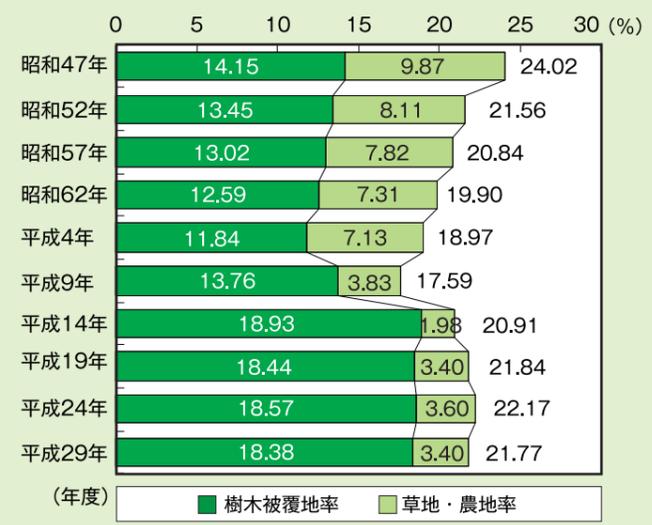
緑被率 21.77%

緑被面積 741.54ha



緑被地等の構成比

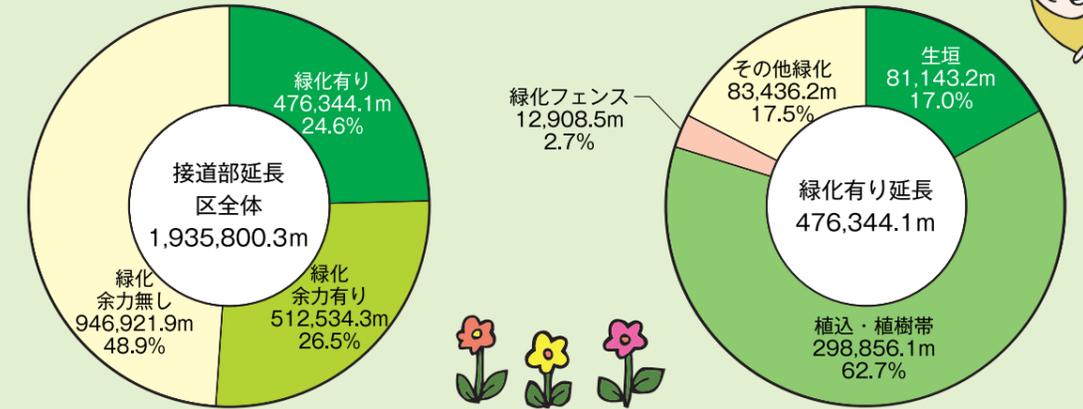
緑被率とは、樹木や草地などの緑で被われた面積が、区域面積に占める割合です。



緑被率の経年変化

※本図の樹木被覆地率には、屋上緑化率が含まれています。

接道部緑化率 24.6%

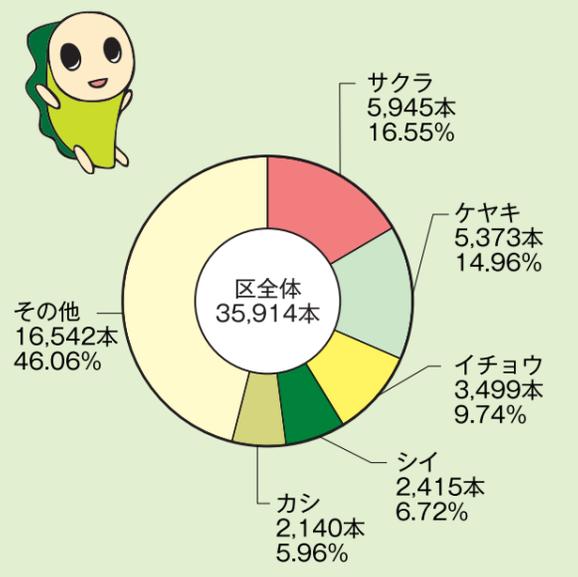


緑化状況の構成比

緑化有りの種別構成比

接道部緑化率とは、敷地の道路面(接道部)の生垣や植込等の緑化延長が接道延長に占める割合です。「緑化有り」は生垣や植込・植樹帯といった緑化の行われているところ、「緑化余力有り」はブロック塀といった将来的に緑化が可能なおとこ、「緑化余力無し」は出入口など将来的にも緑化の可能性が低いところとしています。

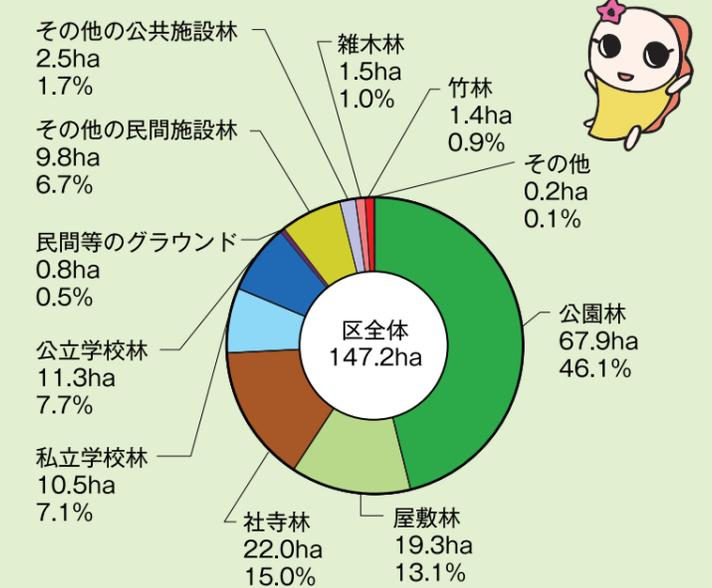
樹木本数 35,914本



樹種別樹木構成比

地上高1.5mの幹の直径30cm以上の樹木は35,914本でした。

面積300㎡以上の樹林 634箇所 147.2ha



形態別樹林面積の構成比

公的樹林(公園、公立学校等)は81.8ha(55.5%)、私的樹林(屋敷林、社寺林等)は65.5ha(44.5%)でした。

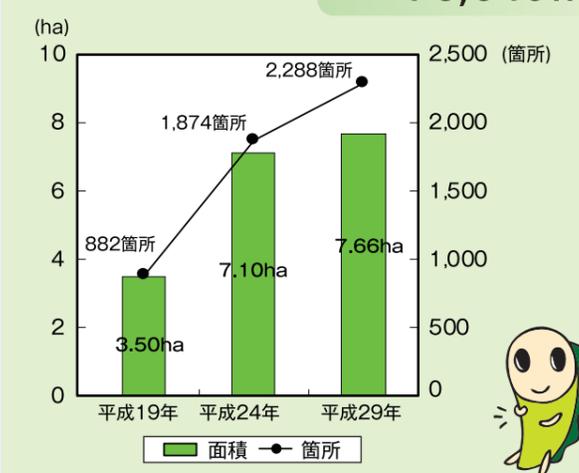
壁面緑化 827箇所 30,511㎡

ナッツタが347箇所、ヘデラが315箇所、この2種類で全体の約80%を占めています。

緑のカーテン 688箇所 4,972㎡

ゴーヤが485箇所、全体の約70%を占めています。

屋上緑化 2,288箇所 76,640㎡



屋上緑化の推移

みどり率 22.9%

みどり地面積 778.7ha

みどり率とは、緑被面積に公園内の緑で被われていない面積と河川等の水面の面積を加えた面積が、区域面積に占める割合です。



みどり率の推移

※緑被率や構成比は端数処理の関係から合計値が合わない場合があります。